

## 編集後記

2013年8月25日

金沢文庫教会記念誌 —56年の歩み— を発刊にあたり、原稿をお寄せ下さった先生方、諸先輩、教会員の皆様方に心より感謝申し上げます。

編集について初めて打ち合わせを行ったのは今年の3月でしたが、毎回は試行錯誤でした。しかし原稿をお寄せ下さった先生方にはご多忙のなか祝辞や思い出、励ましのお言葉を沢山いただきました。また体調不良のために無理な方もおられましたが、とにかく多くの方々の声を反映すべく努めました。結果は嬉しい悲鳴となりました。編集といっても結局は皆様方からの資料提供などのご協力とアドバイスを得て何とか纏めることができました。

特に羽入田 毅兄には週報や総会資料など56年間の原始資料に基づいた年譜をまとめていただいたことは大変貴重なものであると思います。また久保田夫妻ならびに女性会の姉妹たちには写真等資料提供と編集に大変ご協力いただきました。犬塚志朗兄には一定の書式にまとめ、また厳しい予算内に収めるべく、資料の整理原稿や写真の整理、更に業者との交渉を進めていただきました。羽入田悦子姉には案内状から最終原稿の校正にいたるまでご苦勞をおかけしました。感謝であります。

わが国は戦後70年の間に荒廃した瓦礫以外何もないところから著しい復興を為し遂げました。世界中が目を見張るような高度成長でした。しかしそのレベルを維持するために莫大な借金を抱え、その後長期の不況に陥りました。また二年半前、突如3.11の東日本大震災に見舞われるなど大変な状況にあります。その間キリスト教会はブームの戦後10年間の後は教会員の減少、神学部の廃止、無牧の教会など問題が山積しているように思います。こういう時こそ、静かに過去を見つめて、行くべき道を模索してはと思います。記念誌が単に過去を振り返るのみならず未来への参考資料に少しでもなればと願うものです。

白根牧師は今年9月29日に満90歳の卒寿を迎えられます。それまでに何とか間に合わせたいというのが編集員全員の願いです。最後に、不完全な点があるかもしれませんが、その際にご容赦くださるようお願いいたします。

梅谷 興三